

「連合2017平和行動in根室」派遣団報告

「力で奪われた物を力で奪い返すことは愚か、共存を求めることが重要」

～連合福島派遣団として7名が参加～

2017 連合平和行動の締めくくりとして、9月8日（金）～9月11日（月）にかけ連合福島より田村地区連合の白岩議長を団長として、各地区連合より7名が派遣団として参加してきました。

ほぼ移動が多く距離もあり、あらためて北の大地北海道の広さを肌で感じました。

9月9日初日は北方四島学習会で映画「ジョバンニの島」を鑑賞し参加者からは、すすり泣きが聞こえ、切なく感無量でした。その後4部門分かれ報告や現状のパネルディスカッションが行われました。

そのなかで根室西高の女子高生から「力で奪われた物を力で奪い返すことは、4島を奪われた同じ思いをする人たちが増えるだけで愚かなことであり、共存を求めることが重要である」と言われた言葉が印象的でした。



集会で挨拶する連合神津里季生会長



連合2017平和ノサップ集会の様子

翌日の9月10日は、納沙布岬で、朝からあいにくの雨のなか全国の仲間が駆け寄り平和集会が開催され、神津会長の挨拶をはじめ多くの来賓を迎え、元島民も80歳を超え多くの元島民は、島に戻れず亡くなっている一刻でも早く島に戻りたいと早期返還実現を訴えられました。「故郷に帰りたくても帰れない」想いは、どこか福島の避難している人たちと同じ

じ想いかと思いました。

戦後70年が過ぎ、沖縄・広島・長崎そして北方4島返還と戦争が起こした悲劇が今後も何十年と続き、戦争の悲劇や愚かさや過ちを犯さないよう若い世代に伝え、風化させてはならない。そして、今も竹島の領土問題や近隣諸国でのミサイル問題など平和を脅かす問題があり、地球上で争いが無く、全世界が平和に暮らせることを望むところです。



連合平和集会会場にて

解散式にて白岩団長より、「一人ひとり感じたことを職場の組合員へ伝え、参加者が中心となり平和を訴え、今後も平和運動に取り組むことを決意し、また機会があれば平和運動に参加することを誓い」解散しました。最後に、組合員の代表として参加できましたことに感謝申し上げ、平和行動in根室の報告と致します。



早期返還実現への強い願いが込められた「きぼうの鐘」